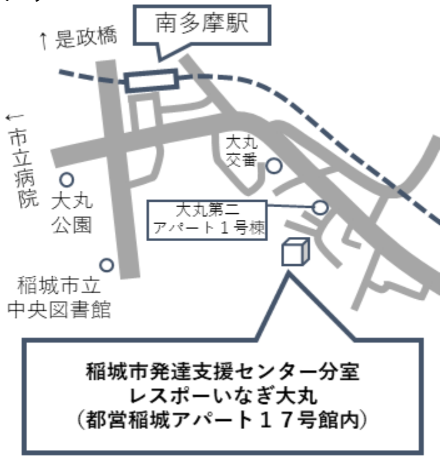
社会福祉法人　正夢の会
稲城市発達支援センター分室 レスポーいなぎ大丸 支援プログラム

1．基本情報

所在地	連絡先電話番号
〒206－0801 稲城市大丸607番地の2　都営稲城アパート17号棟１階	042-401-5139 （受付時間　9：00～17：00）

サービス提供曜日	月・火・水・木・金
営業時間	9：00～17：00
サービス提供時間（長期休暇のサービス提供時間）	
集団療育　1日クラス	9：30～13：30
個別療育　言語・心理・OT	１回60分
開所日	土日祝日、夏休み、年末年始、新年度準備を除く
定員	20名
送迎	有（集団療育のみ）

アクセス



2．法人　基本理念　～心に添う支援で安心と満足を～

私達は日々の生活の中で支援を必要としている方々一人ひとりを尊重し、安心し満足して暮らせるための支援の高い創造的なサービスの提供を目指します。

さらに、地域の新しい福祉分野の担い手としての役割を果たしていきます。

3．法人　基本方針

1．利用される方々一人ひとりの気持ちを尊重したサービスを提供します。

2．職員は利用される方々の生活を誠実に責任をもって支えていきます。

3．常に透明で健全な施設運営を行います。さらにサービス向上のために創造的な経営を目指します。

4．地域で暮らしている方々に対して必要なサービスを提供します。

5．地域の行政や福祉サービス事業所と連携し地域福祉の推進に寄与していきます。

児童発達支援　支援方針

～人を信頼し、安心し、自分らしく成長する～

①自分らしく、周囲の環境に自ら関わっていこうとする気持ちを支えます。	『人との関わり』を支える（人間関係・社会性）
②伝え合うことの楽しさを伝えます。	『コミュニケーション』を支える（言語・コミュニケーション）
③『できた！』『わかった！』という成功体験を積み、自己肯定感を支えます。	『分かって行動する』を支える（認知・行動）
④着替えや食事、排泄などの生活に必要なスキルを一人一人のペースに合わせて支援します。	『基本的生活習慣』を支える（健康・生活）
⑤主体的な遊びを通して身体・手先を使い、『楽しい！』『やってみよう』という気持ちを支えます。	『遊びから身体の使い方を学ぶ』を支える（運動・感覚）
⑥ご家族の気持ちに添いながら、協力・協働の関係を築きます。	家族支援
⑦関係機関と縦横に連携し、地域で育っていくことを支えます。	地域支援・地域連携・移行支援

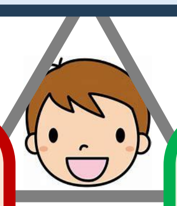
４．『家族支援』『地域連携・地域支援』『移行支援』

家族支援

～協力・協働の関係～

お子さん・ご家族の想いに寄り添い、安心して生活できるようサポートします。

◇育ちの相談
◇保護者交流会
◇保護者勉強会
◇療育見学



地域連携・地域支援

～地域で育つ・暮らす～

地域の関係機関との連携を進め、地域の支援体制の構築を図ります。

◇園・関係機関との連携
◇地域向け勉強会

移行支援

～関係機関と縦横に連携～

次のライフステージに向け安心感を持って移行していけるようサポートします。

◇就学準備のサポート
◇就学先の情報提供

一人ひとりのお子さんの発達のめばえに合わせて支援しています

お子さんに合わせて遊びや活動を提供することで・・・

わかった！できた！という
達成感・成功体験を積む

→

『自己肯定感』
『自己有能感』

↓

“やってみよう！”“やってみたい！”
“楽しい”“もっとしたい”という気持ちが育つ

↑

＜遊び支援の例＞

「遊び始める」を支援

おままごと

扱える量

全部食べたら
おしまい

好きなキャラクターで大人と
やりとり遊び

お医者さんごっこ

お子さんに合わせて、遊びの流れを
示す手順書の形や
工程を変更

「お友達と遊ぶ」を支援

ブロック遊び

釣りごっこ

遊びを設定することで、イメージを共有したり、お友達と目的を共有したり、遊びを発展させることに繋げる

＜設定遊び支援の例＞

外活動へ
行く前に、
お約束を
確認

活動前の
お約束の提示

静かに聞く時間・
お話できる時間を
切り替えて視覚提示

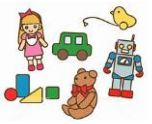
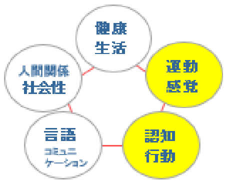
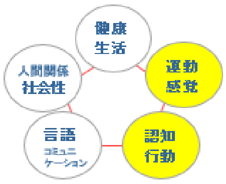
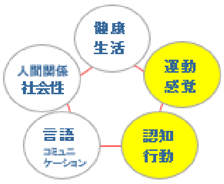
活動中の
枠組みの提示

お子さんと共に
例を出し合い、
クラスに提示

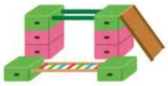
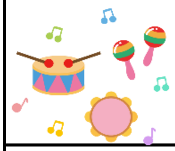
”あったかことば”の
リマインドカード

シール遊び
① 枠に合わせて貼る
② デコシールで自由に貼る・剥がす
③ はがして遊ぶ

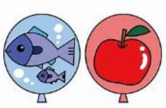
5．遊び支援のねらいと内容

玩具遊び 	音の鳴る玩具・転がる玩具・操作性のある玩具・プットイン教材など ・遊びを見つける。 ・操作の結果に気付く。操作の結果に期待して遊ぶ。 ・遊びの始まりと終わりを意識する。	
感覚遊び 	粉遊び・絵具・スライム・寒天・新聞紙遊びなど ・さまざまな素材のものに触れることで、触感覚が育つ。 ・感覚遊びから見立て遊びや宝探しなど、ルールのある遊びにつながる。	
お砂遊び 	砂遊び・泥んこ遊びなど ・砂や泥の感触を楽しむ。 ・水等により変化を楽しむ。 ・砂で形を作ることで見立て遊びにつながる。	
粘土遊び 	油粘土・小麦粉粘土・紙粘土など ・丸める・ちぎるなど手先の様々な動き・力の入れ方を経験する。 ・見立て遊びからお友達と遊びを共有する。 ・型ぬきなど道具の使い方を知る。	
見立て遊び 	ブロック・つみき・粘土など ・イメージ、想像して遊ぶ。 ・ブロックを組み立て、手先を使う。 ・イメージしたものを形にする。	
ごっこ遊び 	ままごと・レストランごっこ・段ボール電車・魚釣りなど ・お友達と遊び場面を共有する。 ・お友達と遊びのイメージを共有する。 ・発展させた遊びを楽しむ。	

6. 設定遊び支援のねらいと内容

設定遊び		
触れ合い遊び 	シーツブランコ・バスに乗って・公園に行きましょうなど ・身体の触れ合いを心地よいと感じる機会につながる。 ・関わりの展開を予測し期待する。 ・要求を表出する。	
運動遊び 	巧技台・スクーター・真似っこあそびなど ・運動機能が向上する。 ・ボディイメージが養われる。 ・協応的な運動を経験する。	
園庭・公園遊び 	滑り台・ブランコ・お砂場・ジャングルジムなど ・遊具に合わせて身体を動かす。 ・揺れ遊具を体験する。 ・お友達と遊び場面を共有する。	
制作遊び 	シール・クレヨン・絵具・はさみ・折り紙など ・自由に表現する。 ・作品が完成した喜びを経験する。 ・道具に合わせて操作する。	
音楽 	感覚遊び・歌・楽器・ダンスなど ・歌うことを楽しむ。声を出すことに興味を持つ。 ・リズム・テンポを感じ、積極性・集中力・持久力を養う。 ・模倣しながら身体を動かす。他者との一体感を経験する。	
調理 	かき氷・ホットケーキ・パフェなど ・道具に合わせて操作する。 ・食への興味を持つ。 ・順番を期待して待つ。作品が完成した喜びを経験する。	
水遊び 	プール・色水遊びなど ・水遊びを楽しむ。 ・操作の結果に気付く。色の変化に気付く。 ・着替えやプール準備を行う。	
机上遊び 	パズル・型はめ・ぬりえ・かるた・すごろくなど ・遊びの始まりと終わりを意識する。 ・色・形を認識する。 ・目的やルールに沿って遊ぶ楽しさを経験する。	
ゲーム 	おにごっこ・椅子取りゲーム・新聞紙ゲーム・宝探しなど ・ルールに沿って遊ぶ楽しさを経験する。 ・お友達との協力し遊びを楽しむ。お友達と気持ちを共有する。 ・勝敗のあるルール遊びを楽しみながら気持ちを表現する。	

7. お集まり支援のねらいと内容

ペープサート 	おおきくなあれ・ふうせん・まるいたまご・おつかいありさんなど ・見て楽しむ。 ・変化を期待する。 ・色・形・数字・物の名前に気づく。興味を持つ。
お名前よび 	呼名・〇〇ちゃんはどこですか・あなたのお名前は？など ・関わりを楽しむ。 ・聞いて応じる。 ・お友達に興味を持つ。
手遊び 	ぱんだうさぎこあら・あんぱんまん・食べ物手遊び・数字手遊びなど ・動作を見る。 ・音や言葉と動作を結びつける。サイン表出につなげる。 ・動作を真似る（大きな動きから小さな動きへ/両手同じ動きから異なる動きへ）
歌・楽器 	お子さんの好きな歌・季節の歌・設定活動や行事に合わせた歌など ・聞いて・見て・歌って楽しむ。 ・操作の結果（音）に気付く。 ・季節の歌に触れる。設定活動や行事のイメージを持つ。
絵本 	季節の絵本・設定活動や行事に合わせた絵本・参加型絵本など ・見て楽しむ。次の展開やストーリーに期待する。 ・真似る・動作する楽しさをお友達と共有する。 ・季節に触れる。設定活動や行事のイメージを持つ。
参加型演目 	魔法のクレヨン・くいしんぼうのゴリラ・どんな色が好き？など ・目的に合わせて操作する。 ・期待して順番を待つ。 ・お友達に見てもらう・お友達を見る。

８．生活動作の支援のねらいと内容

食事 	おやつ・昼食時など ・食事が楽しい時間となる。 ・摂食機能が育つ。 ・食事マナーを知る。食具の使い方を知る・経験する。	
排泄 	トイレの一連の流れ・排尿・排便・ペーパーの使い方など ・トイレに慣れる。 ・トイレでの一連の流れや動作を経験する。	
着替え 	排泄時・プール時など ・大人の協力動作に意識を向ける。 ・動作への意識が増す。 ・やってみようとする気持ちが育つ。	
身支度 	朝の登園・おやつ・昼食・帰りの支度など ・目的に気付く。大人の関わりに気付く。 ・身の回りのことに取り組む。 ・できた喜びを大人と共有する。	

＜生活動作支援の例＞身支度

①他児と共有の分類分け

②個別の分類分け

③個別ロッカー

1 おべんとう	2 フォーク	3 くだものいれ	4 おしぼり	5 りゅっく すいとう・おべんとう	6 かご	7 おぼん

④食事の片付け手順書

９．専門療育の内容

（1）全職種共通の専門性

親子関係や兄弟関係を含め、家族の中にいる子どもの姿や、その将来像を思い描きながら、理解を深めていく。家庭背景や保護者の子育てに関する不安や困りごとに寄り添いながら、子どもの思いの代弁者として、育ちをサポートする。

(2)言語聴覚士

子どもの発達の全体を捉え、ことばの発達とコミュニケーション発達の視点から、評価及び支援を提供する。特に言語理解面への支援を大切にし、子どものわかる実感をサポートする。コミュニケーション手段としての代替コミュニケーションの検討を行う。構音障害や吃音などの言語障害に特化した支援についてより適切なタイミングで適切な介入方法で提供する。食べる機能の発達について、必要に応じて評価や助言、支援を行う。

(3)作業療法士

子どもの遊びや学び、食事・排泄・着替えなど、子どもが日々の生活の中で行う作業において、運動・感覚・精神機能等の視点から発達評価、発育を促す。また、集団生活等における子どもの社会生活適応能力の発達においても、評価、助言を行う。支援においては、子どもの発達段階に沿った遊びや身体を動かす体験だけではなく、子どもの興味や関心に沿って、子ども自身が楽しみ、選び、挑戦するなど、子どもが意欲的・主体的に行う作業を提案する。

(4)理学療法士

乳児を中心とした姿勢運動発達への支援について、解剖学・生理学・運動学等に基づいた専門知識から支援を提供する。運動発達の遅れに伴う、子育ての不安や悩みに寄り添い、生活の中で関わりや遊びの設定について助言する。成長に伴う予後を踏まえた上で、必要な補助具や自助具等の適応や必要性について情報提供を行う。幼児期の応用運動や基礎体力向上について遊びや運動を通した療育プログラムや、保護者に対し家庭での取り組みを提案する。

(5)公認心理師

発達（知能）検査等及び行動観察による評価を行い、認知、言語、社会性等の発達段階に合わせた支援を提供する。机上課題や遊びを通して子どもが見せる反応や行動をどう捉え、対応していくかについて保護者と一緒に考え、振り返りながら支援を進めていく。

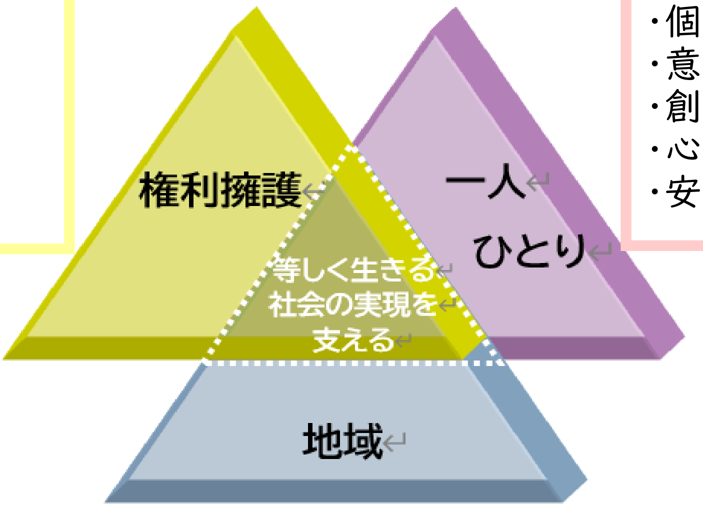
１０．主な行事

４月	前期オリエンテーション
５月	親子ピクニック
６月	
７月	保護者交流会
８月	保護者勉強会　水遊び
９月	後期オリエンテーション＆交流会
１０月	
１１月	親子ミカン狩り（日程変更の可能性あり）
１２月	クリスマス会
１月	保護者勉強会
２月	
３月	卒園式

１１．職員の質の向上

正夢の会では権利擁護の視点を大切にして研修を実施しています。

・自分らしく在る
・エンパワメント
・合理的配慮
・リスクマネジメント
・第三者評価
・苦情解決制度
・高い専門性



・発達支援
・個別性
・意思決定支援
・創造的なサービス
・心に寄り添う
・安心

・事業の創設
・ソーシャルワーカー
・ソーシャルアクション
・ネットワーク
・ライフステージ
・参画
・啓発活動

～正夢の会　法人内外研修～

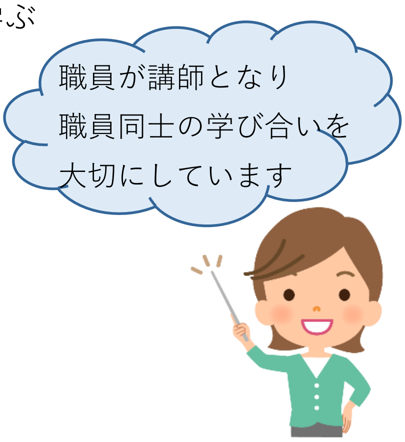
	研修名	内容・目的等
内部研修	新任研修①	法人理念、障害者理解、権利擁護、就業規則等の事務連絡
	新任研修②	医療、ビジネスマナー
	こころのケア	こころのケアの基本的な考え
	新任フォローアップ研修	リスクマネジメント、障害特性、家族支援
	メンタルヘルス研修	メンタルヘルス維持・向上
	安全運転研修	安全運転・交通ルールの再確認等
	虐待防止・権利擁護研修	虐待防止や権利擁護に関する研修
	ハラスメント防止研修	ハラスメント防止に関する研修
外部研修	階層別研修	東京都社会福祉協議会や福祉経営塾主催等への参加。
	テーマ別研修	権利擁護、強度行動障害等
法人主催研修	福祉についての学習会	人材育成、地域啓発活動
	発達障害支援セミナー	東京都発達障害者支援体制整備推進事業の講習会実施の場合はそれをもって当セミナーを位置付ける

～正夢の会　児童分野集合研修～

正夢の会が大切にしている発達支援を軸に、発達全体像をアセスメントする力を高め、統一した支援を目指します。

・法人理念と方針に基づき、権利擁護を主軸とした発達支援・保護者支援について学ぶ
・言語、運動、感情、遊び、コミュニケーションなど項目ごとの発達を学ぶ
・言語コミュニケーションや運動、遊びの支援方法について学ぶ

1回目	①子どもの権利を考える ②発達支援とは ③保護者支援について	④定型発達について ⑤療育のねらいと実践
2回目	①運動発達と感覚統合 ②前言語期の支援	③インリアルアプローチ ④遊びの支援
3回目	①ペアレント・プログラム ②言語発達とコミュニケーション	③社会性の発達 ④摂食支援



作成：令和7年2月1日
改定：令和7年10月27日